

# 総合病院中津川市民病院

## 病院の概要

開設時期：昭和31年11月  
開設者：中津川市長 青山 節児  
院長名：安藤 秀男  
病床数：360床  
標榜科：内科（総合）、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、形成外科、精神科、腎臓内科、血液内科、老年内科、内分泌・代謝内科、病理診断科、救急科、内視鏡外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肛門外科、歯科口腔外科

医師数：45名  
指導医師数：19名  
外来患者数：723名／日  
入院患者数：203.2名／日  
所在地：中津川市駒場1522-1  
URL：https://nakatsugawa-hp.jp/



## 病院の特徴

地域の中核病院である当院では、様々な症状をもった数多くの患者さんが受診されるので、プライマリ・ケアに必要な基本的な診療技術を取得することが可能です。

## 院長メッセージ



安藤秀男

地域の人たちには無くてはならない病院として、またいざという時には頼りになる病院として、地域住民の人たちに安心、安全、信頼される医療をいつでも提供できるよう体制を絶えず整えています。進歩する医療に対して後れをとらないように、専門医資格や認定等の習得やその維持に積極的な支援を行っています。日本で初めての「病院前救急診療科」としてドクターカーを運用しており、当地方の災害拠点病院としての機能や、近隣の被災地域への支援のための災害医療派遣チーム（DMAT）を持つ病院でもあります。臨床研修指定病院として、医師の研修を始め、各地の医療技術者養成期間の実習生の教育などに関しても安定した実績を持っています。

## 指導医メッセージ

当院での研修方針は一言でいうと「よってたかって育てます」になります。中規模病院（360床）のメリットを最大限に活かし、研修医の先生の希望に沿うようにプログラムを組み、実現させていきます。従来から研修医人数は多くなく、指導医同士の意思疎通も比較的良いため各診療科の垣根も低く、指導医や上級医と一緒に研修を進めることができます。当院では毎月委員会事務局と研修医との懇話会を開催して、研修医の先生の意見をできるだけ反映するような体制をとっております。国の定める方針には従いますが、当直する日や研修順などできるだけ自分で決めることができる余地は残るシステムにしています。このように自分の意見も無理せずと言える、研修もしっかりでき、手技も身につけることができると思います。

地理的には当院は特急の止まる中津川駅からそれほど遠くなく、近くにリニア中央新幹線駅はでき、高速道路のインターチェンジはあるため、交通の便は悪くありません。しかし、中津川市は都会ではなく、医療圏10万人程度の地方都市ではあります。いわゆる地方の研修病院ではありますが、近隣に総合病院が少ないため、症例も比較的多いと思われる。

## 研修医メッセージ

当院は東濃医療圏の最東部に位置している病院です。東濃地域だけでなく、長野県に隣接していることから一部、長野県南部からも患者を受け入れる広大な医療圏を有しており、都市圏とは違う研修を体験していただけたらと思います。2次救急の病院ではありますが、病院前救急（ドクターカー）の研修では、3次救急の現場で『本当の初期』の初期治療を経験することができます。

各科ローテーションでは基本的に研修医は1人になるように配置されています。そのため、指導医の先生方からの指導も独り占めをすることができ、望むならば手技も豊富に経験できると思います。

また、当直業務は月4回が基本となっており、通常の研修に支障が出ないようになっています。1年目は必ず上級医が併診することになっており、2年目になっても必ず上級医がいますので、困ったときにはいつでも相談できる環境が整っています。高齢化の進んだ地域であることから、整形疾患・心疾患・呼吸器疾患が多いことが特徴となっています。

地域の病院であるため、都市部の病院のように何でもそろっているわけではありません。手持ちの道具が少ない中での戦い方を身に着けてみるのはいかがでしょうか。少しでも興味がありましたら一度病院見学にお越しください。

## 研修再開を希望される皆さんへ

研修再開を希望される方は、お問い合わせください。

## 研修スケジュール

### ■臨床研修プログラム

(週)	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	呼吸器内科	腎臓内科	脳神経内科	消化器内科	循環器内科	脳神経外科	小児科	救急	外科	産婦人科	整形外科	眼科	循環器内科
2年次	皮膚科	精神科	脳神経外科	泌尿器科	眼科	整形外科	地域医療	腎臓内科	耳鼻咽喉科	循環器内科	循環器内科	循環器内科	循環器内科

※必修科目：内科24週、外科4週、救急部門12週（4回／月×12月を行うことで4週分に充当可）、地域医療4週（2年次）、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週（聖十字病院・岐阜大学医学部附属病院）

※ローテーションは、研修医と相談して決めています。

## 研修協力病院・施設

愛知医科大学附属病院  
岐阜大学医学部附属病院  
名古屋大学医学部附属病院  
医療法人社団聖泉会 聖十字病院  
恵那市国民健康保険 上矢作病院  
中津川市国民健康保険川上診療所  
中津川市国民健康保険 坂下診療所  
中津川市国民健康保険蛭川診療所

## 後期研修・専門研修（予定）

内科・外科・小児科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・救急科・病理診断科の診療科で基幹病院または大学病院と連携しており研修可能です。

## 研修プログラムの目標

将来の専攻希望科の如何にかかわらず、プライマリ・ケアを中心として、すべての臨床医に求められる基礎的能力を身に付けることを目的とした2年間の研修プログラムとなっています。

## 研修プログラムの特徴

地域の中核病院である当院には、さまざまな症状を持った数多くの患者が受診するので、研修医はプライマリ・ケアに必要な基本的な診療技術を修得することが可能です。

2年次の選択科目を多くしており、自由度の高いプログラムになっています。

全科の垣根が低く、症例などで困ったときに各科の医師に相談しやすい環境が整っています。

## 募集要項

応募資格：令和7年3月に医師免許を取得する見込みである者  
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者  
募集人員：8名（予定）  
身分：常勤医師（フルタイム会計年度任用職員・社会保険加入）  
給与：1年次 月収約560,000円／年収約7,300,000円（時間外手当、賞与、日当直月4回含む）  
2年次 月収約620,000円／年収約8,300,000円（時間外手当、賞与、日当直月4回含む）（市の規定に沿って支給の為、変動あり）  
住居等：規定に沿って補助あり。  
保険等：共済組合（保険・年金）・公務災害加入・医師賠償責任保険加入 ※（令和5年4月時点）

## 連絡先

総務人事課 人事係  
電話番号：0573-66-1251（代）  
fax：0573-65-6445  
E-mail：nmgh@hosp.city.nakatsugawa.gifu.jp

## 交通案内

